

12月27日にお知らせした本学学生1名の新型コロナウイルス感染が判明した件に関連して、保健所の調査の結果、感染した学生の濃厚接触者とされた本学の学生1名の陽性が確認されました。

改めて、学生の皆さんにお願いしたいのは、陽性が確認された方を温かく見守って欲しいということです。

個人を特定しようとしたり、根拠のない情報を拡げようとする動きは、何をも生み出しません。「敵はコロナであり人ではなく、誹謗中傷や差別などで学生どうしのつながりが絶たれてはならない」ことをしっかりと認識していただき、このような困難な状況だからこそ、大学生活で培った絆の力で、皆が手を取り合ってコロナという難敵に立ち向かっていきましょう。

また、県内の感染状況について、愛媛県は、若者などの職場や友人同士の会食で感染が広がっている状況を踏まえ、「年末年始に拡散することを避けるため、会食は毎日のように会う家族などと、過去2週間の行動歴から感染機会のないと考えられる場合に限る」よう求めていますので、12月27日のメールでも周知したとおり、忘年会や新年会などでの友人との飲食の自粛に努め、冬休み中の行動には最大限の注意を払うよう要請します。

加えて、自らの健康観察にはこれまで以上に留意し、体調不良の症状が出現した時は、外出やイベント参加、アルバイトなどで他者との接触の機会は避けること、またお知らせしているとおり、かかりつけ医もしくは地元の受診相談センター（松山市の場合；089-909-3483）に電話して指示を受け、大学にも報告（089-958-2111 ※12/29～1/3 も9：00～21：00は対応）することを徹底して下さい。

令和2年12月30日
危機対策本部